

目標達成計画

作成日: 令和 1年 6月 11日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20	大半の入居者は、入居前に暮らしていた地域のなじみの場所に行きたい希望があるが、お世話になっているという気持ちもあるので、遠慮して強く言えない人もいると思われる。その気持ちに心を寄せ、希望が実現できるように配慮する事が望まれる。	利用者様の希望に沿い、なじみの場所に行ってもらえる様配慮し、体制を作る。	普段の会話から気持ちや希望を汲み取り、体調や状態に留意して主治医への相談の上、事前に計画・準備をし希望に添えるよう努める。	10ヶ月
2	35	定期訓練は実施しているが、近隣住民に訓練の参加を呼び掛ける事や、日頃よりミニ訓練を実施して実践力を身に着ける事、事業所での備蓄の確保を工夫する事が望まれる。	定期訓練に近隣住民の方にも参加いただき、備蓄に関しては事業所での備蓄の確保を決定する。	運営推進会議などを利用し、地域の方への協力を依頼し、日常のレクリエーションの時間などを利用し実践力を養うよう努め、事業所にて備蓄を行う。	10ヶ月
3	40	外部業者の弁当を提供しているが、利用者の好みを聞く機会を作り、月に1度からでも、調理の音や匂いを感じながらの食事作りを工夫して提供する事が望まれる。	利用者様にも参加して頂ける様なメニューを考え、簡単な調理や準備から参加して頂ける様工夫する。	アンケートや聞き取りを行い、実現可能なメニューを選定し、必要な調理器具や材料を揃える。	10ヶ月
4	50	事業所裏の公園や近所のスーパーに向くことで四季を感じることが出来、利用者の外気に触れる機会となるので、散歩を日課として少しでも増やすことが望まれる。	利用者様が外出しやすい環境を作り、声かけや、促し方を考え工夫する。	体調や状態に留意して主治医への相談の上、歩行訓練等のリハビリを兼ねて事前に計画・準備をし、日常定期的に行えるよう努める。	10ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。